

みんなの「なんな一の?」を伝えるこども記者のための新聞

信毎こども記者ニュース

発行/信濃毎日新聞地域活動部 〒380-8546 長野市南県町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193

no.6

モノづくりを体験取材

信毎こども
スクール

木曽郡木曽町で1日開いた第5回信毎こどもスクール「モノづくりの極意～最先端ロボットと木曽伝統の技」を、小学生のこども記者10人が取材しました。書いた記事は、信濃毎日新聞の「信毎こども新聞」面にのり、ロボットクリエイターの高橋智隆さんのお話や三つの体験教室の内容を、来ていない人にもくわしく伝えることができました。

こども記者はスクールで、自分たちも体験教室に参加。ロボット作りや工作などに挑戦しながら、質問したり一生懸命メモを取ったりしました。大変そうでしたが、「いろいろな体験ができてうれしかった」「お話を聞いてワクワクした」と喜んでいました。

高橋智隆さん
のお話



お話の後、こどもたちに囲まれる高橋さん



パワフルなエボルタ、実はとっても小さいんだよ



ロボット
作りに挑戦

ブロックのパーツを自分たちで組み立てたよ



このロボットの考案者でもある高橋さんがアドバイス



「クロールロボ」の完成!



木曽五木で
マイ菜ばし
作り

まず、かななの達人・上條勝さんによるかななの使い方講習



ちゃんとかなながけができているかな?

木を使って
工作しよう

高校生のおいさんが教えてくれたよ



和紙の皮を使った紙工作にも挑戦

こども記者レポート

木曽の木 むだにしない写真立て

森下咲崎記者 (木曽町・小学3年)

「木を使って工作しよう」の体けん教室は、木の写真立てを作りました。教えてくれたのは、木曽青ぼう高校の3年のさいとうなつきさんと2年の木下ともあきさんです。今回、使ったのは木そびノキだそうです。写真立ての部品を120分を作るのに2〜3週間かかったそうです。木曽の山で切ったかんぱつさいを使っているそうです。わたしが体けんしてみようと思ったことは木をむだにせず、り用しているところがすばらしいなと思いました。



な一のちゃんさんがその場で作る記念新聞「な一のちゃん新聞」も作ったよ



こども記者と講師のみなさんと記念撮影



スクール終了後、高橋さんはこども記者の取材に丁寧に答えてくれました